

令和6年度 学校だより 第11号



と い で の

校訓 「自立・創造・敬愛」



高岡市立戸出東部小学校
令和7年1月15日発行

「自己調整しながら学ぶ」

研究主任

今年度、本校の目指す子供像の一つに「【創造】課題に向かって自己調整しながら学ぶ子 自ら学ぶ」を掲げています。自己調整とは、「課題解決の過程で、自分の学習状況を把握し他の子供と話し合うなどして、方向性を見直したり、必要な内容等について考えたりすること」です。

（「幼・小・中学校教育指導の重点」（富山県教育委員会, 2024）より引用）

授業や行事において、「子供が自己調整しながら学習するためにどうすればよいのか」「誰とどのような関わりの中で、子供が自分の問いを解決したのか」「子供が自ら学びを深めるために、どのような指導・支援の工夫をすればよいのか」など、教職員で互いに授業を見合い、子供がどのように変容していくのかを観察し、話し合う研修を行っています。



中国の老子の格言に「人に魚を与えれば一日で食べてしまうが、釣り方を教えれば一生食べていける」という言葉があるように、答えを簡単に教えるのではなく、友達と話し合ったり体験したりすることを通して、自ら学び、育つ子供の育成を目指して、これからも研鑽を積んでいきたいと思えます。

「みんなでつくる」

6年担任

6年生では、これまで「みんなでつくる」を目当てに様々な行事に取り組んできました。

宿泊学習は、立山についての調べ学習から始めました。調べた中から自分たちが行きたい場所を出し合い、当日のルートを話し合いました。より充実した宿泊学習にするために、しおりやパンフレット等も自分たちで作りました。当日は、天候にも恵まれ、最高の景色とともに忘れられない思い出になったと思えます。



学習発表会では、台本を自分たちで作ることに挑戦しました。台詞を一つ決めるにしても、それぞれの思いがぶつかりなかなか進まないグループもありました。いざ台詞が決まったと思っても、動き方や話し方といった表現の仕方が上手いかず、練習すればするほど新たな課題が出てきました。それでも子供たちは諦めることなく、一つ一つの課題をクリアしていきました。本番では、自分たちが作り上げてきたものを楽しんで披露することができ、子供たちも達成感に満ちていました。

三学期は「みんなでつくる最幸の卒業」を目当てに、仲間との思い出をつくったり、家族、地域の皆様、教職員等、お世話になった方々へ感謝の気持ちを表したりしたいと考えています。

これからもご支援とご協力、よろしくお願いいたします。